

6月3日

うまく育てて実も楽しみたい 果樹の苗木を無料配布



苗木を求めて長蛇の列が

苗木の無料配布会が6月3日、役場前と川湯支所前で行われ、多くの人でにぎわいました。

町内の緑化推進のために

毎年行われています。配布されたのはハスカップとクラブアップルで、計100本が用意されました。会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

5月30日

月の摩周・弟子屈音頭保存部が受賞 弟子屈ロータリークラブによる弟子屈賞



社会会長宅から弟子屈賞を贈呈

6回弟子屈賞授与式 弟子屈ロータリークラブ(辻谷智之会長)主催の第6回弟子屈賞授与式が5月30日、屈斜路プリンスホテルで行われました。同賞は、芸術・文化などで顕著な活躍をし、本町を広く知らしめた方を同クラブが顕彰するもの。今回は弟子屈町文化協会 月の摩周・弟子屈音頭保存部が受賞しました。また、自らの職業において長年、本町に寄与してきた方に贈られる職業奉仕賞の授与も行われ、川湯温泉街で37年にわたり菓子店を営んできた風月堂の鈴木信一さん・由美子さん夫妻が受賞しました。

5月15日

日頃の訓練の成果を発揮 川湯で釧路北部消防事務組合が総合演習



模擬火災訓練では屈折式はしご車も活躍

第42回 釧路北部消防事務組合総合演習が5月15日、川湯中学校で行われました。演習には同組合に所属する弟子屈町、標茶町、鶴居村の職団員143人と車両10台が参加。観閲式や分列行進を行いました。引き続き行われた模擬火災訓練では、大きな建物での火災を想定。職団員が一丸となって、火災防御活動を展開しました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

6月12日

登山客と山を守りたい パークボランティアが藻琴山登山道を整備



登山客の安全のために

川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが6月12日、藻琴山登山道でロープ張りを行いました。

毎年、夏山開きとともに実施しているもので、土砂崩れが起きやすい場所や希少植物が群生している個所などに立ち入らないよう、注意喚起を促すためにロープを張っています。この日は頂上付近や屏風岩周辺で強風が吹く中、手際よく作業が進められ、全7カ所にロープを設置。作業を見ていた登山客の方からは「お疲れさま」とパークボランティアの皆さんを労う言葉が聞かれました。

6月10日

将来ビジョン達成に向けプロジェクトが始動 南弟子屈地域活性化協議会第3回WG



施策を効果的に進めるために

南弟子屈地域活性化協議会の第3回ワーキンググループが6月10日、旧昭栄小学校で開催されました。南弟子屈地域の将来ビジョン達成に向けて組織された2つのプロジェクトチーム「酪農体験ツアーお試し暮らしチーム」と「ライダーハウス運営チーム」。ワーキンググループでは、それぞれのプロジェクトチームの活動について経過報告が行われました。また、将来的に想定される宿泊者への食事の提供や、地元のものを使った特産品を開発するための新たなプロジェクトチーム「特産品開発チーム」を組織することを決定しました。

5月26日

悲惨な事故を防ごう 交通死亡事故現場で旗の波による街頭啓発



安全旗を手に交通安全を呼びかけ

国道241号と243号が交差する鈴蘭の交差点で5月26日、旗の波特別街頭啓発が行われました。同交差点で5月19日、青信号で横断していた歩行者がミルクローリーにひかれて亡くなる事故が発生したことを受け、町交通安全運動推進協議会(会長・徳永町長)の呼びかけで緊急に行われたもの。町交通安全協会や町交通安全指導員会、町女性ドライバークラブ、すずらん丘自治会、弟子屈警察署員など約60人が、安全旗を手に交通安全を訴えました。

5月20日

子どものうちから人権思想を身に付けて 奥春別小学校で人権教室開催



人権について意見交換する児童

釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が5月20日、奥春別小学校(小原正寿校長)で開催されました。講師は北海道子ども人権擁護委員長の館岡穰さん、弟子屈町人権擁護委員の日下部真理子さん、小泉裕さん。児童は2~4年生、5・6年生の2グループに分かれ、いじめなど子どもにとって身近な人権問題をテーマにしたDVDを視聴し、意見を交わしました。講師の皆さんは「思いやり」「優しい心」を大切に話し、子どもたちは真剣に聴き入っていました。

6月12日

懐かしいふるさとの思い出話に花が咲く 第58回札幌弟子屈会総会を開催



ふるさとの名物摩周そばに舌鼓

札幌近郊に住む弟子屈町出身者で組織する札幌弟子屈会(山田鐵士会長)の第58回総会が6月12日、札幌市で開催されました。今回は会員91人のうち50人が参加。このうち9人が初参加で、一緒に参加した同級生との思い出話で盛り上がっていました。本町からは徳永町長、八幡豊行町議会議長などが来賓として出席。J A 摩周湖の協力で摩周そばの手打ち実演と試食を行ったほか、本町の昔と今の風景や最近の町の動きを写真で紹介しました。参加者からは「摩周そばがとてもおいしかった」「最近のニュースで弟子屈の話題が多くてうれしい」などの声が聞かれました。

6月12日

研修や視察の内容を報告 地域おこし協力隊員による昭栄カフェ



各地の取り組み事例を紹介

地域おこし協力隊員による「昭栄カフェ」が6月12日、旧昭栄小学校で開催されました。堅苦しくなく気軽に協力隊員と親睦を深めてほしいと、不定期に開催されています。今回は、協力隊員が着任後、道内外各地で行ってきた研修や視察の報告を行うことを目的に開催。南弟子屈自治会の皆さんを中心に9人が参加しました。協力隊員から、さまざまな地域の特徴的な活動が紹介され、参加者の皆さんは興味深く聴き入っていました。

5月28日・29日

自転車長距離走で弟子屈を満喫 グランfond摩周に過去最高の238人が参加



弟子屈の景色と味を楽しみながら

第4回グランfond摩周(同実行委員会主催)が5月28・29の両日、町内各地を会場に行われ、道内外から過去最高の238人が参加しました。グランfond摩周はレースではなく、景色やグルメを楽しむ自転車のイベント。28日には、正しい自転車の乗り方教室の後、摩周観光文化センターを発着地に9〇〇草原などを巡る60キロと40キロのサイクリングツアーが行われました。29日には、摩周湖や屈斜路湖などを望む130キロと65キロの2コースを実施。チェックポイントでは摩周そばなどの地元の味が堪能しました。

5月27日~29日

大きく育てて帰っておいで 町営牧場に若牛が入牧



町営牧場に到着した牛たち

5月27~29日の3日間の日程で、酪農家で育てられた若牛が家畜車で運ばれ、広々とした町営牧場・9〇〇草原へ放牧されました。今年は1,063頭もの牛が入牧。これから栄養豊かな牧草を食べて、起伏のある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して、秋には畜主のもとへ戻ります。